

じゃっと新聞

No.49 号

2007 年上半期の活動報告

発行日：2007. 11. 23

発行人：小幡 順子

発行所：じゃっと事務局

〒895-0054 鹿児島県薩摩川内市神田町

11-20 若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail jaddo@po2.synapse.ne.jp

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>



第 49 号ごあいさつ

特定非営利活動法人じゃっと 理事長 小幡 順子

12 月末に開催される「じゃっと・スタディツアー」まで、あと一ヶ月近くとなりました。今回のツアーでは初の試みとして学生枠を設けました。総会でも案内したとおり、地元の学生に対しツアー代を一部補助して参加者を募るものです。

2～3 名でも申し込んでくれたらいいなと願っていましたら、予定を上回る 6 名の高校生、大学生が申し込んでくれました。思いがけない反響にスタッフ一同驚いたところです。

本当に参加する意思があるのか、本人の意思を確認しようと 10 月半ば理事 3 名で参加希望者に対する面接会を開きました。希望者の 6 名はそれぞれ国際貢献や国をかけた仕事を希望したり、また現在ボランティア活動を行なったりと、国際協力意識が高く、団体行動のできる学生さんでした。そこで予定していた人数を越える事になりましたが、6 名全員を今回ラオスに同行することに決定致しました。

初めて学生さんを多数同行することになり、事故のないように現在ラオス側スタッフと連絡を取っています。参加した学生たちが一つでも多くのことを体得できるツアーにできたらと、スタッフ一同準備に余念のないところです。

今回の面接に際して、私個人が感じたことは「国際協力、国際貢献という職業が成り立ち、それに憧れる年代が育っているのだ」という事です。

私が就職活動をする頃、国際協力・国際貢献といえば「海外青年協力隊」位しか思いつかず、私などはそのような選択肢があることすら気付きませんでした。

自分の生まれ育った国や地域だけでなく、違う国や地域の文化や価値観を知る事はとても人生の糧となるものです。今後も学生さんを多数連れて行けるよう、頑張りたいと思います。

じゃっど、第40回MBC賞を受賞！

日頃よりご支援くださり、ありがとうございます。今回、皆様へうれしいご報告です。

標記のとおり、2007年9月、じゃっどは第40回MBC賞を頂きました。MBCとは南日本放送のことで、鹿児島を代表するテレビ・ラジオ放送局です。10月10日、鹿児島市の城山観光ホテルで行われた表彰・授賞式の様子とあわせてお知らせいたします。

◆ 小幡理事長、受賞スピーチ



今から15年前、現事務局長である帖佐理子が、ラオスの小学校を訪問した際に、その教育現場の状況を見て「この子ども達のために、何かできないか」「なんとかしなければ」と強く思い願っただけではなく、「私たちも何とかしたいのだ」という現地ラオス人医師の強い要望があつて始まったのが、我々「じゃっど」の活動です。

はじめのうちは、帖佐の呼びかけで薩摩川内市の同級生を中心とした少人数で、現地活動のための資金集めや必要な教材の収集など、細々と活動していきました。「少ない予算でも効果的な学校衛生啓発活動はできないか？」と思い悩みながら活動を続けるのですが、長らく混乱の中にあつたラオスでは、学校教育体制が再開されたばかり。子どもを教育する教師の方も、正しい衛生知識を持ち合わせていないという現状がありました。

そこで「じゃっど」では、①現状把握のための健康診断、②先生たちを対象とする衛生知識啓発教育セミナー開催、③衛生施設(トイレや水道設備)をはじめとする学校

設備の充実、という三つの柱を掲げて活動することにしました。限られた予算での活動でしたので、当初対象校は1年に3、4校ほどでした。しかし、私たちと同じ目的意識を持つラオス人医師たちと協力し、活動を続ける事でラオス国内での評価が高まり、今では私たちのパートナーであるラオス人医師ソムチット氏はラオス国内随一の学校保健のエキスパートとして、ラオス中を指導して回っています。

また「学校保健」という意識も、教育省の中にその部署さえなかったのですが、3年前から教員養成カリキュラムの中に「学校保健」の単位が組み込まれ、新しく教員になった人たちは正しい衛生知識を持って、教育現場へと出て行きます。これらは、細々ではありますが我々じゃっどが活動を続けてきた成果だと、会員一同ひそかに自負しているところです。

今回、このような華やかな賞を受賞できたのも、今までじゃっどの活動に理解をくださり協力して頂いた会員の皆様をはじめ、私たちの活動を応援してくださる鹿児島県総務部国際交流課の方々、国際交流協会の方々のご支援、ご指導のおかげと感謝しております。最後に、じゃっどの現地スタッフであるソムチット医師とコンサップ医師からのメッセージを代読して、お礼の挨拶とさせていただきます。

「親愛なる皆様、私たちはこの朗報を共に分かち合うことを感謝しています。この受賞をととても誇りに思います。本当に名誉ある、すばらしいことです。どうぞ、私たちの深い感謝と心からの『おめでとう』の言葉を日本のじゃっどの皆様にお伝えください。ありがとうございました」(了)

◆MBC 賞とは？（MBC：南日本放送）

昭和 43 年、MBC が社の創立 15 周年を機に、よりよい郷土づくりへの一環にと設けたもので、産業・経済・文化・教育・芸術・スポーツ等、各分野で現在活躍され、そして将来を期待される個人、団体に贈られるものです。

◆受賞時のニュースより【第 40 回 MBC 賞に2団体決まる・9/25】

地域社会の発展に貢献し、今後の活躍が期待される団体や個人に贈られる第 40 回 MBC 賞が決まりました。今年度はラオスへの支援活動をしている薩摩川内市の NPO 法人「じゃっど」とホテル舟で地域おこしを行っているさつま町の「奥薩摩のホテルを守る会」の 2 つの団体に贈られます。

薩摩川内市の NPO 法人「じゃっど」は幼児の死亡率が高いラオスの子ども達に保健衛生教育を行い、その知識を家族にもひろげていく「小さな医者さんプロジェクト」を展開しています。トイレや井戸の建設、子供たちの健康診断などにも力を入れており、15 年に渡る国際援助活動が評価されました。

Copyright(c) Minaminihon Broadcasting Co.,Ltd. All rights reserved.

MBC賞・授賞式 スナップ



MBC中村社長より
小幡理事長へ
賞状贈呈



ソロチミスト川内
瀬戸山さとこ



副県知事より
副賞贈呈



MBC社長
小幡理事長
奥薩摩のホテル
を守る会会長



選考委員の皆様と
帖佐理事
古田理事



みなさんで
記念撮影

◆ ラオス側活動報告（2007年4～9月）

ソムチット医師より英文レポートが届きました。翻訳して掲載します。

Jaddo / Small Doctor Project: Report of activities April- September 2007

I. はじめに

10年以上に渡って、じゃっどはビエンチャンをはじめとするラオスの小学校へ校舎の修復、トイレ建設、水設備の導入、机いす黒板の寄付など、様々な支援活動を行っています。加えて、じゃっど現地スタッフは生徒の健康診断、駆虫薬や牛乳、文房具の配布を実施し、生徒への衛生教育と教師向け衛生教育セミナーを行っています。今年、ラオス南部にあるドンロンカン島にて小学校と健康センターのトイレ建設を支援しました。2007年12月には、コーン島での教師向け衛生教育セミナーを予定しています。

II. 活動報告

視察：タディンデン小学校 校舎修復の要請がありました。

繰越金57218バーツからの50000バーツを利用。



校舎の様子を視察するソムチット医師

- ・タディンデン小学校に黒板10個を寄付
- ・ナテ小学校に寄付に黒板5つと水道設備を寄付

♪ 搬入の様子



♪新しい黒板と子ども達



- ・ ドンロンカンの健康センターにトイレ施設を寄付

Done-Long Kang

ドンロンカンとは、ラオス南部のチャンパサック県、コーン島地方に属する大きな島のひとつ。村の人々により健康センターが建設されましたがトイレ建設の資金が足りず、じゃつどに支援要請がありました。現在、トイレは完成しています。（写真はありませんが、12月にスタディツアーでコーン島を訪ねた時に視察します）



完成した健康センター

Ⅲ. 上半期収支報告

前期からの繰越金: 151519バーツ

支出: 94301バーツ

現在残っている予算: 57218バーツ (16,021,040 キップ)

(※じゃつど事務局加筆: うちタディンデン小学校に50000バーツ寄付)

(残り: 7218バーツ)

ビエンチャン市 2007年9月

プロジェクトマネージャー ソムチット・アッカボン医師

2007 年じゃっとスタディツアー 学生枠の派遣生が決定！

表紙の理事長あいさつでも述べましたように、今年度よりツアーに学生枠を設けました。初めての試みということもあり、薩摩川内市内の高校生と、帖佐理事が講義を行った鹿児島大学の学生さんを対象に募集を行い、書類選考、面接の結果、6名の生徒さんが同行することになりました。ツアーは12月23日～30日の8日間。大人8名学生枠6名の計14名で行ってきます！これからの世界を担ってゆく若い彼らが、この旅で何を得るかも楽しみです。帰国後、報告会を予定しております。ツアーや学生枠に興味のある方、必見です！（来年2月開催予定・追ってHP・ブログにてご案内します）

・内田友一朗さん（川内高校1年生）

「自分たちがいかに恵まれた環境にいるのか、彼らに足りないものがあるとすれば何が足りないのかを見たい」

・松井将師さん（川内高校1年生）

「ラオスの人々と触れ合うことで、今の自分の生活を見直すきっかけにしたい」

・砂田裕仁さん（川内商工高校1年生）

「中学生の頃から将来、青年海外協力隊員として活動したいという夢があり、国際協力という点からも参加したいと思った」

・竹下陽子さん（川内商工高校1年生）

「高校に入りボランティアを始め、様々なことを得ることができた。私にできる国際協力はどのようなものがあるかを掴みたい」

・吉田祐基さん（鹿児島大学・工学部1年生）

「国際協力という難しい分野でも現地での確実な成果をあげられているじゃっとの現場を実際に見てみたい」

・日高葵さん（鹿児島大学・法文学部1年生）

「大学入学時より、国際協力について考えてきた。自分の視野を広げ、世界の現実をこの目で確かめたいです」

（応募書類の志望動機より抜粋しました）

開発部より ★中高生が事務局来訪、じゃっと活動について学ぶ★



10月、薩摩川内市の川内商工高等学校ボランティア部のみなさん、長島町の川床中学校の生徒さんがそれぞれ事務局にいらっしやいました。スライドでじゃっと活動の概要を見てもらった後、実際に使っている保健の紙芝居を手にとったり、アナマイソングを聞いたりして体感していただきました。



● 川内商工ボランティア部のみなさん

訪問後、ボランティア部の皆さんは活動の一環として、商工祭にてじゃっとへの募金活動を実施され、「机いす募金」へ寄付してくださいました。ありがとうございました！

● 川床中学校の生徒さんは、総合学習の一環として、NGO・NPO活動に興味のある生徒さんが来訪。

「絵本を送る運動」に、1人1冊ずつご協力頂き、後日レポートを送ってくださいました。ありがとうございました！



● 商工祭の募金を机いす募金に寄付

【事務局たより】

新規会員・ご寄付（2007年8月～2007年11月）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。（以下敬称略）

■ 新規会員 神庭光春（始良郡）平石尚子、西邦弘、陶山賢治
淀かの子、淀妙子（鹿児島市）和田ミヨ（薩摩川内市）

■ 平成19年度会費 木場貞成、木場弥生、望月明子（神奈川県）高橋清輝、菱刈昭郎、菱刈明子、若松裕子、安永健次郎、小倉邦子、渡辺裕子、三本釈世、橋口知章、久木野勲、和田ミヨ（薩摩川内市）鎌田到（北海道）岩崎岩男、平石尚子、西邦弘、陶山賢治、坂上恵子、淀かの子、淀妙子（鹿児島市）横林宙世（北九州市）宇津木和子、小林義郎（東京都）斉藤洋史、森田由夫（埼玉県）中村武（佐賀県）小幡順子（南さつま市）鈴木琴子（茨城県）熊谷銀次郎（兵庫県）高木史江（富山県）前原よし（千葉県）中村律子（出水市）松永武志（阿久根市）神庭光春（始良郡）

平成20年度会費 矢野千鶴子、牛の浜妙子、安藤ツギエ、新原千恵子（薩摩川内市）田邊ツル子（長島町）

■ 平成21年度会費 関隆子（薩摩川内市）

■ 寄付金 坂上恵子、（株）キッセイ薬品（鹿児島市）瀬戸山弘子、上赤順子、川内商工ボランティア部（薩摩川内市）

■ 机、いす募金 8口：川内商工ボランティア部（薩摩川内市）
4口：図師松太郎、小原孝広（宮崎県）

2口：木場貞成、木場弥生（神奈川県）木藤晃、上赤順子（薩摩川内市）日置郵便局（日置市）坂上恵子、（株）キッセイ薬品（鹿児島市）神庭光春（始良郡）

1口：立島ユカイ、立島尚子、飯伏富士子、永田由美（薩摩川内市）鈴木潤、長友章浩、矢野博（宮崎県）

■ 大口寄付 帖佐理子（薩摩川内市）

■ 委託販売 Cuir Hair 仮屋洋子

【国内活動】

7月25日 ジャッド新聞48号発行

7月26日 ジャッドブログ更新（ジャッド新聞をダウンロードできます）

8月7日 薩摩川内市国際交流協会伊東さん事務所来訪

8月9日 ジャッドブログ更新（アジア雑貨のご案内）

8月22日 （財団法人）自治体国際化協会機関誌「フォーラム」
クローズアップNPOにジャッドの記事掲載

8月24日 ジャッドブログ更新（「フォーラム」の記事）

9月1日 パイロットクラブ・チャリティパーティ（城山観光ホテル）にて出店。ラオス雑貨販売（増岡、牧田、泊）

9月6日 MBC賞に内定の通知

9月21日 日置郵便局、国際ボランティア募金の寄付を受ける（小幡、泊）

9月21日 事務所にてMBC賞の取材（小幡、帖佐、古田、宮脇、泊）

9月26日 MBC賞受賞のニュースがMBCニューズナウで放送される

9月28日 ジャッドブログ更新（寄付のお礼・MBC賞報告）

10月3日 神庭光春氏ジャッド事務所訪問

10月3日 川内商工高等学校ボランティア部事務所来訪（帖佐、泊）

10月10日 MBC賞、表彰式（城山観光ホテル）
理事長以下15名で出席
九州電力組合、南日本新聞を訪問

10月13日 鹿児島県共生協働センターだよりの取材

10月13日 薩摩川内市提案公募型支援事業
公開プレゼンテーション（国際交流センターにて
小幡・帖佐・泊）

10月14日 ジャッドスタディツアー学生卒希望者面接（小幡・帖佐・古田・泊）

10月17日 長島町立川床中学校の生徒さん事務所来訪

10月23日 帖佐理事、MBCラジオ収録

10月24日 薩摩川内市立図書館「おはなしひろば」にて
「絵本を送る運動」説明（泊）

10月27・28日 純心大学バザー出店

27日（立島尚子・柴こうこ・泊）

28日（小幡・古田・増岡淳子・宮脇）

11月5日 川内商工高等学校ボランティア部、商工祭での
募金をジャッドに寄付

11月6日 長島町立川床中学校より参加レポート届

■ 会費納入のお願い

各会員様の会費納入状況（会費有効期限）は、宛名シール内に記載してあります。会費自動引き落としの会員の方は、

8月30日が引き落とし日でした。ご確認ください。

ジャッドの活動は皆様の会費に支えられています。

引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

机、いす募金は随時募集しております。

郵便局：0250-2-4746 口座名 JADDO

じゃっど INFORMATION

◆帖佐理事、じゃっどを語る

帖佐理事がMBCラジオ「陶山賢治のぶにせんもえ」出演！

じゃっど立ち上げから、現在に至るまでの活動を語ります。

放送日は **11月25日(日)朝10時15分～30分。**

12月2日・12月9日の3回に渡って放送されます。

日曜の朝、ゆっくりと寛ぎながら、じゃっどのお話に耳を傾けてみませんか？ぜひ、お聞きください。



番組のイメージはラジオ・サロン！

現役第一線で活躍中の老若男女と語る人生、

仕事、家族、生きがい、そして「私自身」。

リラックスした雰囲気の中で、ちょっとおしゃれで知的な、いつか役に立ちそうな情報も自然に盛り込まれた会話が弾みます。笑いあり、悲憤慷慨あり、毒舌もセンチメンタリズムもありの15分間。(MBCラジオHPより)

◆絵本を送る運動の輪がひろがっています

じゃっどでは昨年に引き続き今年も、シャンティ国際ボランティア会の「絵本を送る運動」に協力しています。

●日本の子ども達が日頃から親しんでいる人気の絵本に、ラオス語の翻訳シールがセットになっています。

絵本を読んで楽しんだあと、ラオスの子ども達に思いを馳せながら、ラオス語のシールを切って、日本語の上に貼ってゆく作業をお手伝いしてもらっています。

●今期は、下記の皆様にご協力を頂きました。

- ・薩摩川内市国際交流協会「キッズえいご教室」の皆さん
- ・薩摩川内市立図書館・中央館にて、絵本の読み聞かせボランティア活動「おはなしひろば」をしている林さん、中島さん、ご参加の皆さん
- ・薩摩川内市立寄田小学校、5・6年生のみなさん
- ・川内商工高等学校ボランティア部のみなさん
- ・長島町立川床中学校、事務局来訪の生徒さん
- ・若松記念病院職員のみなさん



ラオス語絵本の
できあがり。
ご協力頂いた皆様
どうもありがとう
ございました！

◆バザー活動おこないました

9月、パイロットクラブチャリティパーティにて

10月、純心大学学園祭にて、じゃっどのブースを出店しラオス・タイの雑貨を販売いたしました。ご協力くださいました会員の皆さん、お買い上げくださった皆さん、ありがとうございました！

●パイロットクラブ

●純心大学バザー



編集後記

・MBC賞受賞に出席してみて、あらためて「じゃっど」のすばらしさと外部の評価の高さを実感しました。その他大勢の感覚で参加して、背広なしでテレビに映ったのは私です…すみません。(K. K)

・中学生、高校生がじゃっどの活動に関心を持って、机いす募金活動、絵本を送る運動に参加していることはとても頼もしいです。ラオスの現地報告が楽しみです。(M. M)

・学生枠参加者も無事決定し、ツアーの準備も大詰めです。私にとって初のラオス。今回は理事揃い、踏み&JICA のOBOGも参加と心強いかな。挨拶だけでもラオス語でできるよう、準備したいと思います。(T)

次回じゃっど新聞は「スタティツアー報告号」、2008年3月の発行予定です。お楽しみに！